

施策番号 3-2-2	施 策 名 子育て環境の充実	基本目標 誰もが健康で自分らしく笑顔で暮らせるまちづくり
		政策名 安心して子育てできるまちづくり
	主 管 課 子育て支援課	課長名 佐々木 雅之
	施策関係課	内 線 168

施策の方針		対象	意図					結果	
子どもの健やかな心身の成長を促すとともに、教育・保育相互の子ども情報の連携、保護者への教育情報の円滑な提供を促進します。		子ども、保護者	・子どもの健やかな心身の成長 ・教育・保育相互の連携が進み、保護者への教育情報の提供がスムーズになされる					保護者が安心して子どもを預けることができる	
成果指標	説明	単位	策定時(基準値)	2023年度実績	2024年度実績	2025年度実績	2026年度実績	2026年度目標	
① 保育所の保育サービスに満足している保護者の割合	保護者アンケート	%	94.8 (R3)	91.2				95.0	
② 保育所待機児童数	実績数	人/年	0 (R3)	0				0	
③ 安心して子育てができる環境であると思う町民の割合	住民意識調査	%	88.6 (R3)	86.4				90.0	
成果指標設定の考え方	①は、町内保育施設を利用する保護者アンケートの結果を成果指標として設定。 ②は、保育所待機児童数ゼロを継続するため、成果指標に設定。 ③は、町民を対象とした住民意識調査の結果を成果指標として設定。								

2. 施策の事業費

	策定時決算	2023年度決算	2024年度決算	2025年度決算	2026年度決算
施策事業費（千円）	748,014	811,646			

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察				
①2023年度の 成果評価 (基準年との比較)	<input type="checkbox"/> 成果は向上した	想定され る理由	成果指標①は微減、成果指標②は0を継続、成果指標③は微減。4年度には、全保育室のエアコン設置を支援し、5年度より稼働。5年度には新たな放課後児童クラブが誕生するなど、施策の結果につながる充実を図っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は変わらなかった			
	<input type="checkbox"/> 成果は低下した			
②第5期総合計 画後期実施計画 (2026年度)の最 終的な目標達成 状況	<input type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標は達成できる	根拠 (理由)	・成果指標からは、全体として目標に近づいたとはいえないものの、具体的施策については拡充の方向で進めている 成果指標①の減は、特定施設への評価による影響であり、他施設においては概ね目標値を達成している状況。満足度改善に向けた協議を継続している 成果指標③については、現在育児中の回答者のみではないため、「地域全体として子ども・子育てに寛容で協力的な雰囲気」を高めていく啓発も必要である	
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能			
	<input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい			
(2) 施策の成果評価に対する2023年度事務事業総括				
①施策の成果向 上に対して貢献 度が高かった事 務事業	保育事業	②施策の成果向 上に対して貢献 度が低かった事 務事業		
	町立保育所運営事業			
	子どもセンター運営事業			
③事務事業全体 の振り返り(総括)	・「保育事業」「町立保育所運営事業」→私立の認可保育所や認定こども園、小規模保育事業所、幼稚園のほか、町が2か所の保育所を運営するなか、多様な保育ニーズに応じており、待機児童ゼロを継続している。町独自の副食費の無償化に加え、令和5年度には全施設において使用済み紙おむつの施設処分を実現している ・「子どもセンター運営事業」→町内2か所の子どもセンターとみなみっこ児童館について、放課後や長期休み期間を有意義に過ごせる安全安心な場所として運営。上美生地域においては補助事業として学童クラブの運営を支援。令和5年度からは市街地に新たな民間放課後児童クラブが開設され、社会資源が充実している			

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果(計画策定時との比較)

担当課 評価	全保育施設及び全学童施設におけるエアコン設置による環境改善、使用済み紙おむつの施設処分開始、放課後児童クラブの新設による選択肢の拡大、保育士確保対策(保育士合同就職説明会の開催)など、この間の取り組みを総合的に評価。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		

A: 実現した B: (後期実施計画策定時と比較して) 大きく前進した C: (後期実施計画策定時と比較して) 前進した
D: (後期実施計画策定時と比較して) 変わらない又は維持した E: (後期実施計画策定時と比較して) 後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	・令和5年4月より、入所児童不在により、上美生保育所が休所となっている ・令和5年度末をもって小規模保育事業所(1事業者)が撤退し、社会資源が減少したが、他事業所の定員増により受入枠は確保している ・一方、出生数は減少傾向ながら、特に0歳児の入所需要が増しており、待機児童ゼロ継続のためには、保育人財の確保を含めた対策強化が求められる
この施策に対して住民・審議会・議会からどのような意見や要望が寄せられ、どのように改善したか。	・「生きる力を育む「幼保小連携の充実」について」として、令和5年12月定例会議において一般質問を受けている ・「登校日のおやつ無い学童に疑問」として、令和6年4月に十勝毎日新聞への投書を受け、おやつ提供を無くした経緯、開所時間の繰り上げの困難性について、紙面回答している

5. 施策の課題認識(現状の課題、第5期総合計画後期実施計画期間において新たに取り組むべき課題)

・放課後児童クラブを含む子どもセンター機能について、安定的な人財確保による機能的・弾力的な運営及び質的向上を図るため、民間活力活用を含めた運営手法について、検討することとしている。 ・病児保育の町内整備についての再検討 ・待機児童ゼロ継続に向けた新たな取組手法の検討

6. 経営戦略会議(庁内評価)

評価	担当課評価同様に前進したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	5に記載の取り組みを進めてください。	A: 実現した B: (後期実施計画策定時と比較して) 大きく前進した C: (後期実施計画策定時と比較して) 前進した D: (後期実施計画策定時と比較して) 変わらない又は維持した E: (後期実施計画策定時と比較して) 後退した					

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	取り組み内容などから維持したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果				○	
今後の取組に対する意見	・放課後児童クラブ等でのおやつを提供を再開してほしい。欠食児童が多いため、そういう観点での吟味してほしい。 ・保育士が安心して働ける労働環境を整えてほしい。	A: 実現した B: (後期実施計画策定時と比較して) 大きく前進した C: (後期実施計画策定時と比較して) 前進した D: (後期実施計画策定時と比較して) 変わらない又は維持した E: (後期実施計画策定時と比較して) 後退した					